



# 卓 話



## 「日本盲人職能開発センターと 目の不自由な方への支援」

日本盲人職能開発センター施設長 杉江 勝憲氏

### 1 はじめに

社会福祉法人日本盲人職能開発センターは、①視覚障害者の職業を開発し、訓練と指導を行い社会復帰の促進を図る。②利用者の意向を尊重し、多様な福祉サービスが総合的に提供されるよう創意工夫をする。③利用者の個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援する。以上を基本理念として、視覚障害者の就労支援を行っています。



### 2 能力開発訓練

◆OA実務科（特別委託訓練、対象：重度視覚障害者 定員5名 期間：1年間）

一般事務職として新たに就職・再就職を希望する視覚障害者にパソコンを用いて、ビジネス文書作成、データ処理と活用、プレゼンテーション、インターネットの活用などをできるようにし、それとともに実務に必要な知識や技能（ビジネスマナー、簿記、ビジネス法務など）を身につけるための訓練を行います。

また、就職活動に伴う支援（自己PR、面接の受け方など）を行います。

ハローワークの受講指示により、東京障害者能力開発校の委託を受け、重度視覚障害者の職業訓練を行います。

◆事務処理科（新規採用・継続就労コース、対象：視覚障害者 定員5名 期間 個別対応）

新たに就職を希望される方、または、すでに企業に雇用され視力の低下などにより業務遂行が困難になられた方にパソコン、拡大読書器、その他視覚障害者支援機器を活用し、実務に応じた文書作成、データ処理と活用等の事務処理技能を付与します。そして仕事の継続・復職・新任者に自信をつける訓練を行います。

### 3 能力開発施設以外の事業

◆就労移行支援（基礎コース、応用コース、速記コース、

対象：視覚障害 定員11名 期間：最長2年間）

音声パソコン初心者を対象にタッチタイピングの基礎から段階的に支援する「基礎コース」、画面読み上げソフト「JAWS」を使用して高度の支援をする「応用コース」、フルキー六点漢字入力を用いて速記の技術を支援する「速記コース」の3コースがあります。

①基礎コース（随時入所、定員4～6名、6か月約80時間）

タッチタイピング、Windows基礎操作、文書作成の基礎、データ処理の基礎、インターネットの基礎、就職のための情報提供等の就労支援

②応用コース（原則、4月、10月入所、6ヶ月間約400時間、定員4～6名）

Windows基礎操作、文書作成の基礎、データ処理の基礎、インターネットの基礎、文書作成の実務、データ処理の実務、インターネットの実務、アウトルック、パワーポイント、アクセス、日商PC検定受験対策、秘書検定受験対策、英会話、ビジネスマナー、就職のための就労支援

③速記コース（随時入所、定員3～5名、1年間約1,200時間）

Windows基礎操作、かなタッチタイピング訓練、フルキー六点漢字入力訓練、漢字の使い分け訓練、フットペダルを使用したMP3ファイルの音声再生システムでの訓練、就職のための就労支援

◆就労継続支援B型（対象：視覚障害者、定員40名）

視覚障害者がパソコンを使い、録音された音声を文字化する作業を行います。政府の審議会をはじめ、講演会や研修会などさまざまな「音声を文字に」しています。

①収録作業

会場に向き会議の様子を録音します。

②タイピング

録音された音声を視覚障害者用に開発されたソフトを使って、全音記録や逐語記録などの文書処理を行います。

③校正

協力者が音声と照合して、訂正箇所を修正し製品に仕上げます。

④納品

データや印刷物で納品します。

◆視覚障害・就労支援者講習会

視覚障害者を採用する企業などの理解を深めるための講

習会を、年10回開催しています。

◆水曜サロン

視覚障害者がだれでも参加できる情報交換の場を提供しています。

◆総合相談

就職や進路についての相談やパソコン訓練などの視覚障害に関する種々の相談を受けています。

◆日本商工会議所PC検定試験の実施

視覚障害者がパソコン技術の資格（文書作成3級、データ処理3級）を取得できる機会を提供しています。

◆ガイドブックの作成と配布

視覚障害者への接し方を記載したガイドブックを無料配布しています。

◆福祉教育ビデオ（DVD）の制作・貸出し

視覚障害者の理解を深めるためのビデオ（DVD）を制作し、無料で貸し出しています。

◆全国ロービジョンセミナーの開催

視覚障害者の社会参加の促進を図るためのセミナーを開催しています。

4 目の不自由な方への接し方

- ①全国の障害手帳をお持ちの視覚障害者は31万人います。
- ②初めて会ったときには、こちらから声をかけてください。
- ③手引きをするときは、肘や肩などに（握ったり、触れたり）してもらい半歩前を歩いてください。
- ④階段や段差では、手前で止まり「降ります」、「上ります」と声をかけてください。
- ⑤道を教える場合は、立っているところを起点にして、例えば「まっすぐに〇〇メートル位行き、パチンコ屋の角を左に曲がり、何件目です」などと言うように左右で説明したり、音や臭いのある目標物があれば教えてください。